

令和5年度

びっころこども園の自己評価

社会福祉法人ちひろ会
びっころこども園

保育理念

<一人ひとりが輝く>

子供の尊厳を守り自主性を伸ばす場を提供する

保護者と地域との連携を密にし子どもの育成にあたる

保育の仕事に誇りを持ち保育技術の向上に日々努める

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行う
A:できている B:一部検討を要する C:改善を要する

【第1章】総則

① 基本事項

項目	内容	評価
施設の役割	1. 子供の尊厳を守り自主性を伸ばす生活の場であることを理解している	A
	2. 子どもが一人ひとり輝けるが場であることを理解している	A
	3. 保護者や地域と連携を持ち子どもの育成に努めることを理解している	A
	4. 保育教諭一人ひとりが誇りを持ち保育技術の向上に努めている	B
目標	1. びっころこども園の法人理念や保育理念は日々昼礼にて唱和し周知している	A
	2. びっころこども園の法人理念や保育理念は入園葉の中に重要説明書とともにとじ込み各家庭へ配布しホームページにも記載公表している	A
保育の取り組み	1. 個々の状況に応じた言葉かけや発達の課題に即した援助を心がけている	A
	2. 子どもの主体性や意欲を引き出し、協調性・創造性・対話による活動の支援を行う	B
社会的責任	1. 法人に関する情報及び保護者等の個人情報への秘密保持への遵守	A

② 養護に関する事項

養護理念	1. 養護と教育を一体的に行うことを意識し保育を行う	A
	2. 「養護」は生命保持と情緒安定が構成される、「教育」は健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域から構成されることを理解している	A
生命保持	1. 一人ひとりの健康状態や、発達状態を把握し異常に気が付くことができる	A
	2. 生理的欲求が十分満たされる環境を心掛けている	A
情緒安定	1. 子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築くよう心掛けている	A
	2. 自分の思いや意見を相手に伝えることができるよう配慮し尊重している	A

③ 保育の評価反省

指導計画の作成	1. 各年齢の発達状況に応じ指導計画を作成している	A
	2. 子どもの思いや気持ちを汲み取り指導計画に反映している	A
	3. 日々の保育の連続性や季節の変化を考慮し指導計画を作成している	A
	4. 子どもが主体的に活動できるよう環境に配慮している	A
	5. 0歳児から5歳児までの育ちの連続性を考慮し保育計画を作成している	A
	6. 年間行事計画を踏まえた指導計画を作成している	A
基本的事項	1. 小学校との連携を意識している	A
	2. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解し計画を立案し保育にあたっている	A

【第2章】 保育の内容

① 乳幼児に関するねらいと内容

基本的事項・ねらい及び内容	1. 離乳食は家庭や栄養教諭との連携を取りながら個々の状況に配慮して実施する	A
	2. 個々の生活リズムに合わせ睡眠をとることができるよう環境を配慮している	A
	3. 特定の保育教諭と継続的なかかわりを持てるよう配慮している	A
	4. 午睡中は体を仰向けにすることを認識し、体温・顔色。呼吸のチェックをする	A
保育の実践にかかわる事項	5. 生活や遊びの中で音・色・形・手触を気づかせて様々なものに触れさせている	A
	6. 上体を支え足の動きを促すなど、遊びを通して身体発達の援助を行っている	A
	7. おむつ交換、授乳などのサインを見逃さず受け止め対応している	A
	8. 発声や喃語等を優しく受け止め応えることで、言葉の理解や発語の意欲を育てる	A
	9. 誤飲、転倒など重大事故につながらないよう安全環境に配慮している	A

② 1歳以上3歳未満児の保育に関するねらい及び内容

健康	1. 生活リズムは一人ひとりの状況を把握し状況に合わせ対応をしている	A
	2. 走る・跳ぶ・登る・押す・引っ張るなど状態に合わせ対応している	B
	3. 楽しい雰囲気の中で食べようとする気持ちを大切にしている	A
	4. 身の回りを清潔に保つ心地よさを感じる習慣が身につくよう援助している	A
	5. 自分で衣服を着脱しようとする気持ちを尊重し見守り援助している	A
	6. 個々の排泄状況に応じ配慮している	A
人間関係	1. 保育教諭とのかかわりの中で、安心して園生活を送るよう配慮している	A
	2. 自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づく経験を重ねていくよう援助する	A
	3. 他児とのかかわりを経験しながら仲立ちをしている	A
環境	1. 戸外活動を積極的に取り入れ身体発達を促している	A
	2. 見る・聞く・触れるなどの感覚の働きが豊かになるよう心掛けている	A
	3. 玩具、遊具は安全に且つ、子どもの興味・発達・発想に繋がり豊かに発達するものを選択している	B
言葉	1. 保育教諭と言葉のやり取りが楽しい雰囲気の中で行えるよう配慮している	A
	2. 絵本の読み聞かせや紙芝居は日々活動の中に取り入れている	A
表現	1. 音楽・リズムに触れリトミックに親しみ全身を使いリズム感覚を養い楽しませている	A
	2. 子どもの表現を受け止め共感している	A
	3. 砂・土・水・紙・絵具等様々な素材に触れ遊びを展開し感性を育ませている	A
保育の実施に関わる配慮事項	1. 体の状態・機嫌・顔色・食欲等日常の状態観察に留意し感染予防を行う	A
	2. リスクマネジメントによる事故防止に努めながら遊びや保育に携わる	A
	3. 子どもの発達に留意し職員間の報連相を尊寿し進級の際、個々への対応に繋げている	A

③ 3歳児以上児の保育に関するねらい及び内容

健康	1. 生活に必要な基本的習慣や態度が身につくよう保育している 2. 食べる楽しみや喜びを味わいながら、食材への興味や関心を育てている 3. 体を動かす心地よさを体験し、自ら体を動かす意欲が育つよう支援している 4. 園内外の危険な場所を知り、安全に留意し活動するよう働きかける	A
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

人間関係	1. 友達と共通の目的を見つけたり、遊びを共に工夫し協力しながら達成感を味わえるよう見守り支援する	A
	2. 良いこと悪いことを知ることで、考えながら行動できるよう援助する	A
	3. 友達と生活する中で決まりの大切さに気づき守れるよう配慮する	A
	4. 生活や遊びの中で、意欲を大切に頑張ろうとする力・自信・自己肯定感を持てる言葉かけや援助を行っている	A
	5. 身近な友達との関わりの中で、相手を思いやり合う気持ちが育つよう援助する	A
環 境	1. 園生活の中で、数量や図形・文字に触れる機会を取り入れている	A
	2. 伝統行事や異なる文化に触れる機会を作っている	B
	3. 自然と直接触れ合う遊びを季節ごとに合わせて取り組んでいる	B

言 葉	1. 人の話を聞くことができ、日常生活に必要な挨拶や会話を身につけさせる	A
	2. 絵本や紙芝居を通し物語の楽しさや言葉の面白さに気づくよう心掛けている	A
	3. 自分の体験や要求を、自分なりに表現できるよう配慮している	A
表 現	1. 歌ったり・リトミックに参加することで体を動かす楽しさやリズム感を養う機会を作っている	A
	2. 個々の表現過程を受け止め、自己表現を楽しめるよう配慮する	A
配慮事項	1. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解し保育にあたっている	A

④ 保育の実施に関して留意すべき事項

保育全般に関わる配慮事項	1. 一人ひとり子どもの心身発達及び活動の実態や個人差を踏まえ、気持ちを受け止め援助している	A
	2. 子どもが安心感を持ち、日常生活を送るよう配慮している	A
小学校との連携	1. 小学校との意見交換や情報共有及び連携を図っている	B
	2. 子どもにおける情報共有に関して保育要録を作成している	A
	3. 地域の幼保こ小との連携による共有の行事に参加している	B
地域社会との連携	1. 地域向けの園だよりで、園行事・日常の様子を定期的に発信している	A
	2. ボランティア・保育体験の受け入れをしている	A

【第3章】健康及び安全

① 子どもの健康支援

健康発達	1. 感染症発症時の発症状況や感染予防策について保護者に知らせている	A
	2. 不適切な養育の兆候や虐待を疑う場合には関係機関との連携対応をしている	B
健康増進	1. 健康診断・歯科検診の結果について保護者に報告と職員に周知をしている	A
	2. 子供の健康情報を共有し、子どもの既往歴（アレルギー・熱性けいれん・脱臼癖・喘息）について全職員への周知及び発生時の対応を行っている	A
疾病への対応	1. アレルギー疾患、慢性疾患を持つ子どもに対して主治医からの指示を得て適切な対応を行っている	A
	2. アレルギーを持つ子どもに対し栄養教諭・調理員と連携を持ち個々に合わせた対応を行っている	A

② 食育の推進

施設の特徴を生かした食育	1. 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう工夫がなされている	A
	2. 乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢・食具の持ち方・マナーを伝えている	A
	3. 展示食で年齢に適した食材の量・形状を保護者に知らせている	A
環境整備	1. 栄養士・調理員と保護者の連携を持ち個々に合わせた対応を行っている	A
	2. 子どもが栽培収穫した野菜やクッキング教室で調理した食品を食べる機会を実施している	A

③ 環境・衛生管理・安全管理

環境及び衛生管理	1. 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ心地よく過ごせるよう配慮している	B
	2. 子どもが活動に支障をきたさないよう保育室の温度・湿度・換気・採光に配慮している	B
事故防止及び安全対策	1. ヒヤリハットを共有し事故防止に努めている	A
	2. 室内外活動・午睡・水遊び・食事中等における重大事故場面が発生しやすいことを認識し、事故防止に努めている	A
	3. 不審者侵入への対策として年1回、マニュアルに沿って訓練をおこなっている	A

④ 災害への備え

安全管理	1. 消火器・火災受信機の操作方法を訓練している	A
	2. 施設の安全点検を行い、不備があった場合の改善を行っている	B
避難への備え	1. 毎月様々な災害を想定した避難訓練を実施している	A
	2. 保護者との連携体制や引き渡し方法が確認されている	B
連携	1. 地域や関係機関と連携を図り、協力が得られるようにしている	B

【第4章】 子育て支援

① 保護者に関する子育て支援

保護者との相互理解	1. 保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる様信頼関係を築いている	B
	2. 連絡帳の利用等で日常的な情報交換や、個別面談の実施により情報交換の支援を行っている	A
	3. 保護者の体験型保育参観・行事参観に伴う保護者の支援を受けることで理解を得る機会を設けている	A
	4. 「園だより」「クラスだより」毎週ドキュメンテーションの掲示で保育内容をお知らせしている	A

② 地域住民に対する子育て支援

地域の子育て	1. 地域における子そだて支援の実施、施設内での職員（助産師）による産前産後の相談支援の開催を行っている	C
--------	------------------------------------------------------	---

【第5章】職員の資質向上

①職員の資質向上に関する基本的事項

職員に求められる資質	1. 法人職員として相手の立場に応じた挨拶・電話・来客対応ができる	B
	2. 自己の健康管理ができています	B
	3. 保育業務の知りえた子どもの家庭に関する秘密の保持について周知し守られている	A
	4. 保護者・地域住民からの相談事項についてプライバシーの保護、内容の秘密保持が徹底し守られている	A
質の向上に向けた組織的な取り組み	1. 業務遂行にあたり正確・迅速かつ・報告・連絡・相談を実践している	B
	2. 公平に人の話を聞き、正確に話を伝達できる	A
	3. 問題意識を共有しながら職員間での共通理解ができ協力することができている	A
専門性の習得	1. 月齢・年齢に応じた発達段階を十分理解し保育を行っている	A
	2. 月-週・日案への立案には「10の姿」「5領域」「非認知能力」への関わりを十分理解し保育計画に落とし込み作成している	A
	3. 保育計画の振り返りを日々行い、保育内容の改善に努めている	A
職員の研修	1. 園内研修に参加している	A
	2. 各職員には、適切な研修の機会の確保を行っている	A
	3. 研修で知り得た知識を保育の中で実践・他職員への周知を行い、振り返ることで自らの学びに役立てている。	B

< 評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行う >

A：できている

B：一部検討を要する

C：改善を要する